

6月15日(月)

言 い 争 わ な い で

聖書朗読 創世記 45:4～24

こうしてヨセフは兄弟たちを送り出し、彼らが出発するとき、彼らに言った。
「途中で言い争わないでください。」 創 45:24

ヨセフの兄弟たちへの忠告を読むとき、思わず笑ってしまいます。ヨセフは兄弟たちの性格をよく知っていたからです。ヨセフは、飢饉が終わるまで父や他の家族をエジプトに住まわせるために、兄弟たちをカナンの地に帰らせました。このようになったのが誰のせいかを巡って兄弟が言い合いになることをヨセフは知っていました。彼らのヨセフに対するひどい扱いや、父についた嘘のことで、きっと彼らは責任回避する方法を必死に探していたに違いありません。

でも、兄弟たちが責任回避をするために言い争う必要がないことをヨセフは知っていました。兄弟たちは、自分たちの家族が飢饉から救われるという良い知らせを持ってカナンの地へ向かっていたからです。さらに、父のヨセフを失ったという長年の悲しみが間もなく喜びに変わるからです。それこそが父にとってのよい知らせなのです。

私たちは自分の兄弟姉妹との経験から、ヨセフの「言い争わないでください」というアドバイスを聞いてそうは言っても言い争わないわけはないだろうと笑ってしまうかもしれません。でも、私たちが争いたくなる誘惑を感じる時、パウロの言葉を思い出しましょう。『うしろのものを忘れ、ひたむきに前のものに向かって進み、キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の栄冠を得るために、目標を目ざして一心に走っているのです。』(ピリピ 3:13～14)何事にも途中で争わず、前のものに向かって進みましょう。

讃美歌 370 めさめよ わが霊
祈 り 天の父よ、あなたは、私たちの心・言葉・行為をご存じです。あなたをほめたたえます。私たちの争いや戦いを赦し、私たちをいのちの道へとお戻しください。イエス様の御名により、アーメン。

テキサス州 グランベリー / クリス・フリゼル

今日 の 力

2026年6月15日 ～ 6月21日

翻訳 ダニエル・ハドルストン

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています
※翻訳・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

6月16日(火)

光 になれ

聖書朗読 出エジプト記 10:21~29

モーセが天に向かって手を差し伸ばしたとき、エジプト全土は三日間真っ暗やみとなった。三日間、だれも互いに見ることも、自分の場所から立つこともできなかった。しかし、イスラエル人の住む所には光があった。

出エジ 10:22~23

エジプトに降りかかったわざわいのことを考えていました。特に九番目のわざわいの三日間の完全なる闇のことです。

この節を読み返すと、その闇の真の深さに驚きました。聖書によると、彼らは互いに見ることもできなかったのです。周りの人の顔も見えないほど圧倒的な闇でした。

この話は現代の私たちに対して有意義な忠告をしてくれます。私たちは時に人生のプレッシャーやトラブルが重くのしかかってくると、お互いの存在に気付かなくなってしまう。私たちはその問題に圧倒されたり、孤立したり、内向きになったりして、自分自身の“闇”に閉じ込められてしまいます。

しかし、その一方で、今日の聖書の箇所、エジプトが闇に覆われている間、神の民の住む所には光がありました。

周りの世界がどれほど暗くなろうとも、神様のご臨在は神の子らに光を与えます。そして、その光は私たちだけのためではありません。他の人々をも輝かせるためなのです。

状況が悪いと感じられても、キリストの光を伝えることが出来ます。私たちクリスチャンは、先が見えない人々の温かさ・希望・光になれるでしょう。

讃美歌 326 ひかりに あゆめよ

祈り 最愛の主よ、闇に囲まれている時にもあなたの光を見ることができるようにお助けください。あなたの希望、あなたのご臨在が必要な人のために、私を光にしてください。イエス様の御名により、アーメン。

フロリダ州 ジャクソンビル / アンドレア・ニモンズ・スミス

6月17日(水)

感 動 し て 与 え る

聖書朗読 出エジプト記 35:20~29

自分の宝は、天にたくわえなさい。そこでは、虫もさびもつかず、盗人が穴をあけて盗むこともありません。あなたの宝のあるところに、あなたの心もあるからです
マタイ 6:20~21

イスラエルの子らは第二のチャンスを与えられました。どういうことかと言いますと、金の耳輪をはずしてアロンのところに持って行き鋳物の子牛を造らせて、奴隷だった自分たちを救ってくださったお方に背いて、その子牛を拝みましたが、主である神は彼らを赦し、彼らとの契約を更新してくださいました。ですから、彼らが神様がして下さったことに心を打たれ、神様の天幕のために供え物を持って来たのは無理もないことでしょう。

時として、贈り物を頂くとき、私は贈り主よりも贈り物に心を奪われます。贈り主への愛や感謝を表わす喜びより、贈り物に心を奪われ、贈り物を失う悲しみに捕らわれてしまうのです。

神様が下さる平安を経験して、神様の赦しを痛いほど感じるのが今までどれほどあったでしょうか。

私は、神様にどれほどセカンドチャンスを頂いてきたことでしょうか。私は、全ての良い贈り物の贈り主なる神様に、心から賛美と感謝をお捧げします。

讃美歌 324 主イエスは すくい

祈り お父様、私を愛して下さい、私に対して絶え間なく忍耐してくださっていることを感謝します。贈り主より、贈り物に対して心を奪われることとあなたへの愛に欠けていたことをお赦し下さい。今日、私のいのちを捧げものとしてお受けください。私たちの生き方のお手本であるイエス様を通して祈ります。アーメン。



カリフォルニア州 マーセド / ベヴァリー・ローグ

6月18日(木)

ま つ わ り つ く も の

聖書朗読 ヨシュア記 7:1～5

こういうわけで、このように多くの証人たちが、雲のように私たちを取り巻いているのですから、私たちも、いっさいの重荷とまつわりつく罪とを捨てて、私たちの前に置かれている競争を忍耐をもって走り続けようではありませんか。
ヘブル 12:1

アレクサンダー大王*はいらついていました。(*編注:マケドニア王。ペルシア帝国を滅ぼし、ギリシアからインド北西部に至る広大な帝国を築き上げた。BC356-323年)ペルシアへと進むにつれ、日に日に進軍は遅くなりつつあるようでした。速さが非常に重要であるにもかかわらず、行軍は遅々として進みませんでした。遂にアレクサンダーは原因に気づきました。今までの戦で略奪した大量の財宝を運んでいて、軍隊というより隊商に見えるほどでした。彼は兵隊たちに荷物を軽くするように命じ、軍はまたスピードを上げて進軍しました。

イスラエルの子らがエリコの町を征服した際、神様は聖絶の物に手を出さないように厳しく命じました。それにもかかわらず、アカンは誘惑に負け、彼の弱さはイスラエルの明らかな敗北に繋がりました。

あなたにまつわりついているものは何でしょうか。秘密の罪ですか。ずっと前からの恨みですか。罪深い習慣ですか。私たちがあるべき人になるのを邪魔するものがたくさんあります。アカンのように、いけないと分かっている、そのものにしがみついてしまいます。その必要ない物を降ろしましょう。投げ捨てましょう。本来走るべき走り方で主にある戦いを走り続けましょう。

讃美歌第二編 われをも すくいし

祈 り 父よ、私たちがあなたに、あなたのみにながみつけますように。地上の快樂や自慢したくなるような宝物を投げ捨て、負担を軽くして、ペースを早められますように。イエス様が競争を走られたように、私たちも走ることができますように。イエス様の祝福されたお名前によって、アーメン。

テキサス州 アビリーン / ティモシー・アーチャー

6月19日(金)

パ ワ ー に 満 ち て い る 人 生

聖書朗読 サムエル記第一 1:9～20

しかし、主は、「わたしの恵みは、あなたに十分である。というのは、わたしの力は、弱さのうちに完全に現れるからである。」と言われたのです。ですから、私は、キリストの力が私をおおうために、むしろ大いに喜んで私の弱さを誇りましょう。
Ⅱコリント 12:9

娘が誕生した日、無事に生まれるかどうか非常にドキドキして、緊張しながら病院まで運転したことを覚えています。恐怖の中で祈りました。「神様、彼女がもし健康でなかったら、幸せな人生を送れなかったらどうしたらいいですか。私たちがそうあってほしいと望むようにはならないのではないかと思うと怖くてたまりません。もしこの子が、、、そう考えることすら耐えられません！」唯一の希望は娘を神様の御手におゆだねすることだと分かっていました。「神様、娘をお願いします。」

ハンナの祈りを思い出しました。神様が「彼女はわたしのものです。」と仰って下さったことが分かりました。四年後、私たちの可愛い娘は1型糖尿病に罹っていることが分かりました。血液検査のために針を刺すとき、私は彼女の小さい信用し切っている指を握っていました。私の目にも娘の目にも涙がこみ上げました。これから彼女の人生はどうなるのだろうか。この病気は完治することはありません。それ以降毎日インスリン注射を打って、彼女は闘病し続けています。

でも、それから毎日、彼女のうちには神様のすばらしさ、めぐみが染み渡るように現われています。彼女は自分の人生を神様の芸術作品と見ています。私たちは、彼女が病気を含めて、変わることが可能であったとしても、何一つも、変えようとは思いません。そして、彼女も同じ気持ちです。彼女はよく今日の聖書朗読、Ⅱコリント12:9を引用して、彼女の弱さに現れる神様の恵みを証言します。彼女はこの弱さにも、また、この弱さこそが神様の力を示すことにも感謝しています。

讃美歌 492 かみのめぐみは

祈 り いのちの主よ、今日、キリストの栄光が私たちの弱さのうちに輝くのを見ることができますように。イエス様の御名により、アーメン。
カリフォルニア州 ウエストレイク・ヴィレッジ / フィル・フィリップス

6月20日(土)

家 族 よ り 信 仰

聖書朗読 サムエル記第一 20:12~23

わたしよりも父や母を愛する者は、わたしにふさわしい者ではありません。また、わたしよりも息子や娘を愛する者は、わたしにふさわしい者ではありません。
マタイ 10:37

「あなたの父上は私を狙っている！」ダビデがヨナタンに、ヨナタンの父サウル王はもはや神様に従っていないと言ったとき、ヨナタンがどう思ったかを想像できるでしょうか。ショック、否定、そして、おそらくダビデの言う通りだという気付きかもしれません。

ヨナタンは難しい決断を強いられました。彼は肉の家族より信仰を選びました。正しいことをしようと決心しました。ヨナタンとダビデは、神様に対する信仰に基づく友情を築いてきました。彼らは兄弟のよう友でした。霊的な家族でした。

あなたの信仰のコミュニティには、支えてくれる霊的な家族を必要としている人達がいます。彼らには難しい問題を話し合えるような人間関係が必要です。お互いを守ったり、面倒を見たり、人生を共有したりする家族のメンバーにならなければいけません。主にある家族としてダビデとヨナタンは行動しました。霊的な家族として。

讃美歌 532 ひとたびは死にし身も

祈 り 最愛の父よ、私たちにいつもあなたを選ばせてください。私たちが家族になれるように助けてください。あなたが完全なる父上であることを、私たちをあなたの子にくださったことを感謝します。イエス様の御名によって、アーメン。



テキサス州 アビリーン / スティーブ・リジェル

6月21日(日)

主 に 仲 介 し て い た だ く

聖書朗読 サムエル記第一 20:35~42

滅びに至らせる友人たちもあれば、兄弟よりも親密な者もいる。

箴言 18:24

サムエル記第一20章でダビデとヨナタンが直面している脅威は現実でした。サウル王の嫉妬と燃え盛る怒りは増加していて、先は不確かで恐ろしいものでした。そういうプレッシャーのある瞬間に、この二人の友だちは力強いことをしました。彼らは難しい状況において、神様を第一に置きました。二人だけの間ではなく、神様の御前で契約を結んだのです。彼らは神に、自分たちを見守り、覚えていて下さるように、そして慈しみと忠誠という約束を必ず果たしてくださいように祈りました。

彼らの神にある契約は私たちに大事なことを思い起こさせます。今日、私たちが直面する戦いは槍や王の戦いではありませんが、別の敵が実際にいます。サタンは私たちを落胆させたり、分裂させたり、破壊したりする方法を常に探しています。でも、私たちの争い、人間関係や衝突や不安を主にお委ねする時、全てが変わります。神様がいらっしゃることで、何が正しいか、何が大事かが明白になります。神様の真実とは平和をもたらします。神様の愛はお互いを気遣う力を私たちに与えてくれます。

回復、励まし、忠誠は意志だけで実現されるものではなく、私たちの決断の場に神様がいて下さるゆえに得られる実であります。私たちが神様に導いていただくとき、疲れ切った者を助け、弱者を守り、闇が迫っているところに光をあてる神様のめぐみの器となります。

讃美歌 326 ひかりにあゆめよ

祈 り 最愛の主よ、周りの人のための祝福になれるように、私の人生にあなたの光をみなぎらせてください。今日、苦しんでいる人を力づけることができますように。イエス様の力強い御名によって、アーメン。

テキサス州 クリーバーン / クライド H・スリンプ